



みなみいず 町議会だより

No. 42号

2010年
平成22. 8. 2

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂328-2 TEL0558(62)6240
E-mail:gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp



黒潮和太鼓まつり

- 主な内容 ● 6月定例会 ……………2～5
- 一般質問 ……………6～11
- 議会の動き、議会一口メモ、くろ潮 ……12

平成22年度

一般会計・特別会計(国民健康保険・老人保険)補正予算可決

総額1,153万7千円!

一般会計 ……………10,456千円
 特別会計……………1,081千円
 (●国民健康保険 ……………1,050千円)

地域づくり推進事業……………1,200千円
 伊浜漁港災害復旧事業関連…3,000千円
 ●老人保険 ……………31千円)

① 人事案件

▼南伊豆町固定資産評価員の選任について
 ○南伊豆町妻良462の1
 山本信三
 全員賛成で可決

▼人権擁護委員の選任について
 ○南伊豆町湊894の41
 山田正良
 ○南伊豆町大瀬439
 山本善一
 ○南伊豆町上小野444の1
 永田裕子
 全員賛成で可決

▼南伊豆町農業委員会委員の議会推薦について
 ○南伊豆町青市770
 石井好美
 ○南伊豆町蝶ヶ野132
 金子勲
 ○南伊豆町伊浜309
 土田光夫
 全員賛成で可決

② 条例制定・改正

▼南伊豆町印鑑条例の一部改正する条例制定について
 全員賛成で可決

▼南伊豆町職員の育児休業等に関する条例及び南伊豆町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
 全員賛成で可決

▼南伊豆町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
 全員賛成で可決

▼南伊豆町農山村総合整備事業施設の設置及び管理に関する条例及び南伊豆町農山村総合整備事業施設使用料徴収条例の一部を改正する条例制定について(一町田町営グラウンド廃止による)
 全員賛成で可決

▼南伊豆町消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例の一部を改正する条例制定について
 全員賛成で可決

▼南伊豆町債権の管理に関する条例制定について
賛成九、反対一で可決

▼南伊豆町吉祥体験農園の設置及び管理に関する条例制定について
全員賛成で可決

③ 第一常任委員会審議

▼南伊豆町債権の管理に関する条例制定について

○伊豆半島沖地震と五十年代の三回の水害に関する災害援護資金の滞納整理を主とする
賛成四、反対一で可決

④ 第二常任委員会審議

▼南伊豆町吉祥体験農園の設置及び管理に関する条例制定について
全員賛成で可決

⑤ 町有財産の処分について

▼町営一町田グラウンドの利用者減で廃止するため土地所有者(伊浜財産管理会)へ返還に伴い倉庫等の町有財産を無償譲渡する。
賛成九、反対一で可決

⑥ 意見書・発議

▼永住外国人に対する地方賛成権付与に反対する意見書
賛成八、反対二で可決

※委員会の審議報告書について必要な方は、事務局に問い合わせ
トヤゴ。



●一般質問

町長に聞きました



竹河十九巳議員

共立病院

質問 指定管理者候補との交渉の進捗状況は。

町長 秘密保持契約を結んで協議を進めており、詳しい内容についての説明は控える。

質問 新築設計施工業者、戸田建設との進捗状況は。

町長 新病院の開院予定を平成24年5月として事前設計協議等の調整をしている。

質問 通院患者に対して患

者の追出し等が行われていると、通院患者から苦情が寄せられているが。

町長 現病院の勤務医が自己の都合によって退職するということである。

質問 町長は3月議会で医療空白は作らないと答弁しているが。

町長 地域医療振興協会が伊豆下田病院の譲渡を受けて、慢性期型から急性期型への転換を図り、2次救急医療も含めて対処するので、医療空白は絶対起きないと、いうことも伺ったわけで、

公益法人の代表者である吉新理事長の公約を重く受け止めている。

介護保険

質問 ケアプランの自己作成の指導は。

健康福祉課長 現状では、ケアプランの自己作成の指導はしていない。

質問 訪問介護サービス・介護予防サービスを受けるときの同居の家族の基準は。

健康福祉課長 一律の基準で判断しないで、個々の実情に応じて対応している。

質問 訪問介護職員等の散歩同行についての、町としての考えは。

健康福祉課長 デイケア等のサービスの一環として取り組むことに対応するなど、必要と認める場合は許可する方向である。

防災対策

質問 消防庁の全国瞬時情報システムJ-ALERTの情報選択の検討は。

町長 自動放送の内容変更を含めて検討していきたい。

質問 災害発生時、学校等の統合による通学、通園距離の長距離化に伴う対応は。

教育長 在校を中心になっているので、通学途上のことは、もっと強化する必要がある。

質問 要支援者台帳の整備は。

町長 要支援者台帳の電子化等によって、要支援者台帳の内容を充実させると共に、随時更新を行い、防災訓練等に反映していきたい。

住宅改修

質問 木造住宅耐震補強助成事業の市町村上乘せ補助

を平成22年から実施するが、耐震化の伸びをどの位見込んでいるか。

建設課長 予算は2棟分計上してあるが、要望が多い場合は補正予算で対応する。

質問 介護保険の住宅改修における福祉職、建築関係者の連携・スキルアップは。

健康福祉課長 ケアマネージャーを対象に年1回研修を実施している。施工業者との連携を十分にとる。

質問 住宅改修に対する助成制度、補助金制度は数々あり、出前講座等を活用して、よりよい住環境をつくるため、広報等に努めるべきだと考えるが。

建設課長 住宅改修を計画する際、施工主本人が改修の目的に応じた制度の活用を検討できるように各課で連携を図り、相談体制を充実していきたい。



横嶋隆二議員

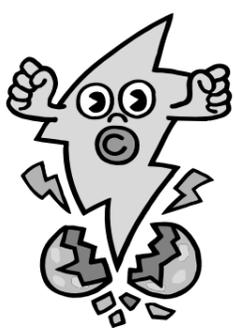
緑の分権改革推進事業

質問 緑の分権改革推進事業とはどんな内容か。町民町に対してのメリットはなにか。

町長 総務省の直接委託事業で、クリーンエネルギー資源の賦存量、利用可能量の調査及び具体的な事業展開のための実証調査で、地熱資源と広葉樹を活用した発電の利用可能量調査だ。地熱エネルギーによる発電事業は、雇用の創出は期待薄だが、山林資源と融合した発電事業は、広葉樹林の伐採による雇用が発生し、荒廃した山林の利活用により、地域経済に好影響が生じると思われる。

企画調整課長 地熱発電だけだと、発電所の管理に2人程の雇用だが、南伊豆町の荒廃した山林資源を地熱発電の追い焚きに活用することで雇用が創出される。これも今回の調査対象。

質問 広葉樹以外、バイオエタノールなども検討するの



か。

下賀茂商店街の活性化

企画調整課長 バイオエタノールは、今回の調査項目には無く、町は22年度の募集に応募している。これは、海のカジメ等、海藻やイモ等を栽培し、そこからバイオエタノールを作るもの。毎年海岸に大量に打ち上げられるカジメ等海藻を再利用するもので、大きな雇用の創出が期待できる。

質問 やつとこの質問ができるという思い。9年近くに渡った合併問題があり、長引く経済不況の中の町の窮状をどう打開するかに力を注げずに来た。下賀茂商店街に限らず、廃業、転業など商店主・事業主の悲鳴をたくさん受けてきた。現況の課題、問題点をどのように認識しているか。

町長 これには、規制緩和による大型店進出、人口減少、都市集中等の要素があると思う。我々も、毎回となく商工会等関係団体と連絡を図り活性化策を検討し



てきたが、決め手がなかった。今回、新庁舎の建設に当たり、この場所・構造物等の面からも検討し、地元で役立たせようと考えている。湯の花観光交流館も、おかげさまで非常に盛況で、これとも一つ、下賀茂の役場の敷地を、生かすことを、最重点に考えていく。

質問 もし合併していたら本庁舎は下田で、新築しても中身は空洞化し、未だ恐ろしい状態がこの町を襲っていた。町当局は、議会の良識が町を守ったことをしっかり位置づけ、庁舎を地域再生の城とされたい。湯の花交流館の盛況はまだ発展途上だが、農業振興会が任されて生産者と消費者のニーズに応えた結果だ。下賀茂商店街と湯の花交流館との



町長 関係団体と協議しながら進める。この地域に合った振興策・活性化策を、より多くの皆さんの考え方をよく拝聴しながら、そういう方向で検討する。



梅本和熙議員

幼保一元化問題

質問 場所は圃場跡地か。

局長 委員会で決定した。

質問 決定が早過ぎでは。

局長 保護者には今以上の負担にならないと考える。

質問 南崎は永久的か。

教育長 10年以上はそのまま使うという想定です。

質問 建物建設の構造は。

局長 木材での建設を基本的には考えております。

質問 入札方法は町内業者が参加しやすい方法を。



石廊崎問題

質問 閉園から六年を経過した。石廊崎観光の空白期間だ。石廊崎は伊豆周遊のために、トイレ休憩に必要な場所、重要な場所だ。

町長 今は裁判に勝つことで、質問も待って下さい。

質問 引き下がれない。和解勧告の話はあったのか。

町長 和解という意味の言葉が裁判官からあった。近期中に議会に報告したい。

質問 勝ったではなくて所有権や利用権がどこにあるかという問題が本当の意味の解決ではないかと思う。

町長 梅本議員の言われることは十分わかります。

質問 裁判に勝ち、負けではなくて、和解という方向で早く解決をすべきだ。

共立湊病院問題

質問 公募条件の開院日は平成23年4月1日と記載されている。JMAは平成24年5月の開院。これは非常におかしい。開院日を平成23年4月1日から平成24年5月に条件変更するのは、公募条件の信頼性を低下させないのか。減価償却費の負担を変更することは公募条件の信用性を低下させるが開院日に関して変更しても公募条件の信用性を落とさないのか。空白期間が発

生するのはJMAが、公募条件の平成23年4月1日から指定管理を受け入れないからである。

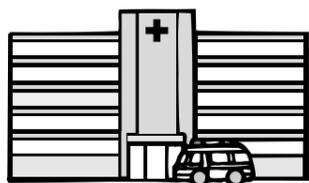
町長 平成23年4月が目標でしたが、今回は公募条件を前提とし、4月1日ではなくJMAは新しい病院でなければやれないと。

質問 協会が下田病院で、今までどおりの救急医療を受け入れてくれるのか。

町長 規模的に、一部無理だと思つ。今検討中です。

質問 協会が下田病院を経営する。JMAは採算性があるのか。協会が、現在地では患者が減っている。じり貧になり、医療経営が厳しい状況になった。下田へ出たいとの話をはじめだ。

町長 競合した場合ということについては、これは非常に難しい問題で、これについてコメントするわけにはいきませんが、私もまだ見えない面がある。



質問 赤字になる確率が強い。我々自治体としては面倒は見られないと契約の中ではっきり言うべきだ。跡地に診療所は当然必要だ。JMAは必ず診療所を残してくれるとの話なのか。

町長 この診療所の問題は新たに病院を経営する場合に、その指定管理者があわせて経営するということが条件です。JMAが診療所の経営をやってくれるものと理解をしております。

質問 JMAに対して、診療所の経営は必須条件だと管理者としてはっきり言ってもらいたい。南伊豆町には、診療所が残るということとは非常に重要な問題だ。多分残ると思つてはなくて残しますという発言を。

観光資源の石廊崎と温泉への対応は



稲葉勝男議員

質問 石廊崎と温泉は重要な観光資源である。奥石廊を訪れた川勝知事も、景観の素晴らしさと伊豆の観光振興の重要なポイントであることを認識された。これをチャンスに県との連携を図ることが問題解決と活性化に繋がると考えるが。

町長 係争中であり、弁護士に指示に従っているが新

たな方向性も出て来たので近日中に報告する。

質問 観光立町を唱える中で温泉の重要性和ハウス園芸等への利用、そして今後検討される温泉熱利用の地熱発電の導入を考えた時、資源保護目的の調査等へ目的税である入湯税を充当する考えは。

町長 関係者と協議する。



新共立湊病院建設の進捗状況は

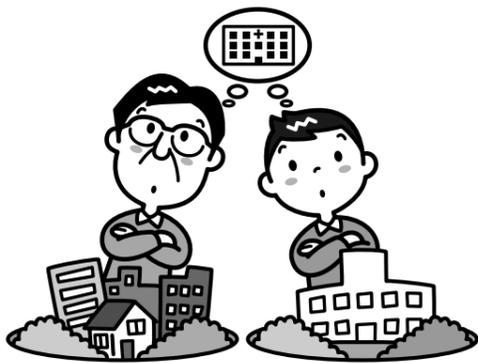
質問 建設の施工業者は決定したが、肝腎な指定管理者についてはどのような状況か。

町長 現在、神奈川県に本部を置く社会医療法人・ジャパンメディカルアライメントと交渉を進めている。

質問 一年一ヶ月の医療空白期間が予想されるが、その対応はどうするのか。

町長 現指定管理者を含め協議中であり、不安を払拭するよう努める。

質問 管理者として、リーダーシップを発揮されることを望む。



木材利用促進法と町有林の保全と活用は

質問 公共建築物等の木材利用促進法では、木材の利用と再植林による森林の循環を促進している。また、木造建築が人の心や身体に良い影響を与えるとも言われている。建設計画中の庁舎と認定子ども園に木材利用促進法を踏まえ、町有林の保全と活用と町内経済活性化の面から用材として利用する考えは。

総務課長 町有林の立木数量は推計で2万5千㎡で有る。庁舎本体への木材利用は耐震・防火の面から困難と考え、床材等への利用を検討している。町有林の利用は10月発注予定で困難と考える。

質問 老朽化の庁舎建設には賛成するが、木造と町有

林の活用、更に庁舎建設費が町内経済の活性化に繋がります。町税として還元されることを鋭意検討することを要望する。





谷 正議員

文化財と観光について

伺いたい。

質問 町民憲章第4章に湯けむりのように高く仰ぐ文化の町を作りましょう。とある。また、南伊豆町は半島先端に位置し、黒潮に育まれ、海路による古来の上方文化や江戸文化との交流があり、独特な歴史文化が形成されている。第5次総合計画でもそれらを踏まえ、基本構想では文化財などを多様な観光資源と捉え、基本計画ではそれらに関係者の理解の基に有効活用し、今まで培われてきた文化や伝統を継承・発展させるため学芸員などの専門職を配置し、文化財の適切な管理、指定を行い、今後も保存・活用に努めるとある。文化財に対しての考えと認識を

町長 その時代に生きる人々の営みに寄って生まれたのが文化であり、歴史的な価値が高く、町民が共有すべきものなのが文化財であると認識している。それらを保護・保存や活用に努めて、その価値を次世代につなぐことが行政の使命と考える。

教育長 文化財とは歴史と伝統が織りなす芸術作品であると考える。

質問 文化財管理についての予算面から見ると大半が町史編纂関係で、管理となるとお粗末と言わざるを得

ない面があり、保護・管理が十分と言えないが、審議会の開催などは。

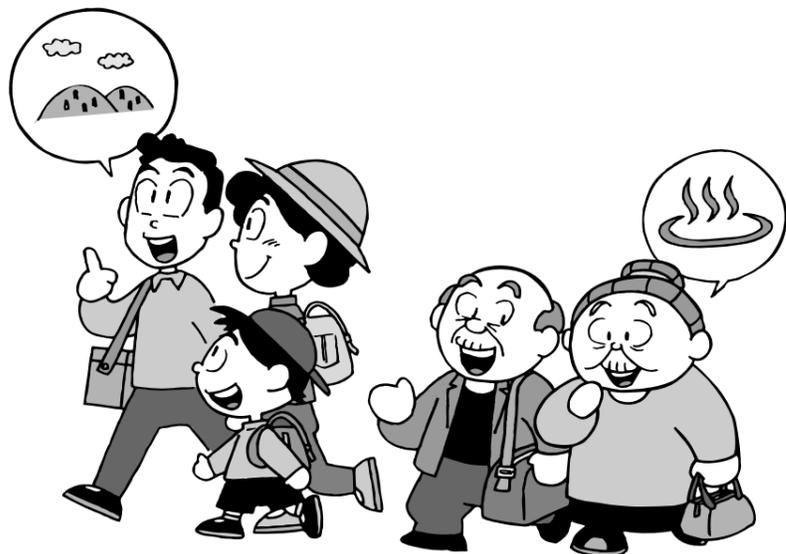
教育委員会事務局

局長 審議会を

昨年度は開催していない。町内の文化財の指定に向けて、早急に調査を進めるために開催したい。

質問 「南伊豆町の文化財めぐり」が作成されているが、それに掲載されているものは文化財に指定されていない。町指定の文化財候補になるのはどの位あるのか。把握できているのか。

教育委員会事務局 過去に建物として四三棟調査した。「南伊豆町の文化財めぐり」にも約五〇件程ある。調査するには専門的な知識が必要であり、種々の規制



では至っていない。未来永劫に残していかなければならない文化財であれば早急に審議会を開催し、法・条例等に則り、指定・保護していく。

質問 修学旅行生等の研修の場に南伊豆町全体で総合的な文化財を絡めた基本構想、行動計画は。

産業観光課長 修学旅行への文化財等の活用は、その行程のなかに組み入れて、学校と受入関係者等と協議したい。

※景気対策と予算について
の質問については、22年度当初予算が骨格予算である21年度当初予算を下回っている理由、町長の考え、認識を、22年度一般会計予算で前年比マイナス0.5%、景気対策に重要な位置を占める投資的経費が骨格予算である前年比マイナス9.2%になっているので、予算編成方針との整合性、認識を糺し、町長から現状認識、今後の景気対策等の考えの答弁があった。



清水清一議員

定住促進について

質問 過疎化が進み、Uターンの方々を多く呼び込むことが必要だ、町としてのこれからの考えは。

町長 定住促進に関するワークショップを開催し、地域の情報誌の作成、交流移住ツアーを実施し、3世代の方が町内へ移住された。町を愛していただけの方であればどなたでも歓迎しますといったスタンスで、地域の情報をできるだけ詳細にお伝えをし、移住後にトラブルが生じないように進めている。今年度過去2回の交流定住ツアーの反省も踏まえ、この交流定住者のニーズにこたえていくのが、関係者と協議、相談し進めていきたい。

質問 住宅の斡旋等を行うについて、町内に不動産業者が多数ある。その方々の情報を一括して企画で調節してやったらどうか。

企画調整課長 平成21年度空き家バンク事業で、町内の不動産業者の方全員に会合に来ていただいて、打ち合わせ等、協力しながら今後も進めていきたい。



質問 空き家バンク事業の、町の把握の軒数は。

企画調整課長 平成21年度初めて実施、今現在、空き家については、町への登録はありません。

質問 ゼロでは、空き家バンクは、名前だけになってしまふ、情報等を集めて、せめて10件ぐらいは町としても最低把握しておいたほうがいいのではないかと。

町の関係する訴訟

質問 岩崎産業との裁判で高裁への控訴理由等は。

企画調整課長 買収交渉に関する件は町の主張が全面的に認められ、原告の主張が棄却。岩崎産業から敗訴部分に対しての控訴が出された。町も、町道の一部についての敗訴部分について控訴している。

質問 町に対する訴訟等は今現在何件あるのか。

共立湊病院について

企画調整課長 もう一点、岩崎産業から平成21年3月に、町道石廊崎線における職員による指導に対する国家賠償請求、損害賠償事件が提出されて、鹿児島地方裁判所で現在係争中。

質問 地域医療振興協会の運営は、指定管理の契約から少し落着くのではないかと。

町長 湊病院は、地域医療振興協会と来年3月までの指定管理者としての契約を結んでおり。したがって、3月までは、契約に基づく診療をしっかりとやってもらいたい、それは当然のことであり、協会には申し伝えていく。

質問 中核病院となる下田と救急を含む医療体制、医療連携等や、町内に対する一次救急の整備は。

町長 一次救急は、我々の町の問題で、賀茂医師会、医療機関、他市町とも連携

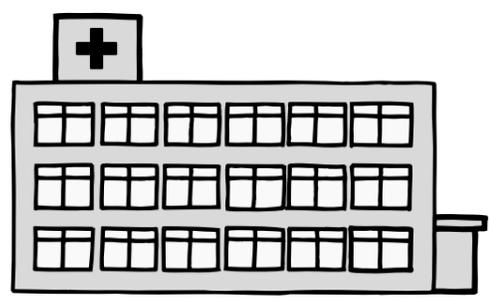
をとり検討していきたい。

質問 湊病院の現在地へ一次救急の拠点をつくるべきではないか。

町長 跡地利用の中で一次救急の拠点となるような、検討し考えていきたい。

質問 現在地を、町は提案し、利用すれば観光面、医療面と利用できる。

町長 下田へ移転した後、有効に活用されるように、地元の要望等が受け入れられるような体制づくりで今後臨んでいきたい。



議会の動き

南伊豆町議会の動き・平成22年5月～7月

- 5月18～19日 全国議長副議長会議・研修会
- 5月19～20日 例月出納検査
- 5月20日 図書館協議会
- 5月21日 賀茂郡議長会総会並びに議長会議
- 5月24日 静岡県町村議会議長会総会
- 5月24日 平成22年度南伊豆町観光協会、商工会総会
- 5月24日 下賀茂温泉旅館協同組合懇親会
- 5月26日 南伊豆町社会福祉協議会理事会、評議委員会
- 5月27日 議会改革調特別査委員会
- 5月28日 議会全員協議会、第1常任委員会
- 5月31日 平成22年度下田警察署管内防犯協会総会

- 6月1日 議会運営委員会
- 6月2日 賀茂郡監査委員連絡会総会
- 6月3日 地方議会連絡協議会定期総会及び第1回政策研修会
- 6月7日 南伊豆町役場庁舎建設検討委員会
- 6月8～11日 編成22年6月南伊豆町議会定例会
- 6月10日 第2常任委員会
- 6月16日 平成21年度水道事業会計決算審査
- 6月17日 南伊豆町役場庁舎建設検討委員会
- 6月17日 南伊豆町健康づくり推進協議会
- 6月20日 海中クリーン作戦伊浜
- 6月21日 共立湊病院組合議会全員協議会
- 6月21日 富士山静岡空港利用促進協議会総会
- 6月23～24日 例月出納検査
- 6月25日 議会改革調査特別委員会

- 7月1日 共立湊病院組合議会臨時会
- 7月9日 町監査委員研修会
- 7月9日 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議案説明会
- 7月14日 平成22年度南伊豆町自衛隊協力会総会
- 7月14～16日 平成21年度一般会計・各特別会計決算審査
- 7月16日 弓ヶ浜海水浴場海開き
- 7月18日 第15回黒潮和太鼓まつり
- 7月20日 平成22年7月静岡県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 7月22日 東京大学下賀茂寮夏期特別開寮
- 7月22～23日 例月出納検査
- 7月26日 議会全員協議会
- 7月27日 賀茂郡議長会議
- 7月28日 伊豆温泉所在5都市議院研修会
- 7月29日 民生委員推薦会
- 7月30日 議会改革調査特別委員会

みなみいず元気ぴと



ピロシキ

子供達に色々なお話を知ってもらい、「心豊かに育てて欲しい」と願うお母さん達が集まって始めたグループで、あっという間に十年が経ってしまいました。

町内の小学校の朝の読み聞かせをはじめ、今では、年一回独自で公演会を開ける迄になりました。会員は十名ですがそれぞれ得意な分野を生かし、小道具から大道具まで全て手作りで仕上げています。

子供会から老人会まで、依頼があれば楽しいお話を持って伺います。窓口は、図書館です。

議会一口メモ

条例とは？

条例とは、憲法第94条の規定によって地方公共団体が法律の範囲内で、しかも法令に違反しない限りにおいて、当該地方公共団体の事務に関して定める法規の一種である。この条例は、その町村の住民に対して他の法令と同じように権利を制限したり、義務を課したりするものであるから、住

民の代表者である議会の議決がなければ、これを制定したり改正、廃止することができない。

議会は、条例制定、改廃権は、予算の議決権と並び最も重要な権限であるので、その行使に当たっては特に慎重でなければならない。そして、住民の意思の反映に務め、条例の効果や他の法令との関係を十分検討することが必要である。「租



最近、クールジャパンという言葉が良く耳にし、目にする。「カッコイイ日本」の意味である。

食の観点から考えると、日本料理(和食)がブームといわれて久しい。一過性ではなく料理等の繊細さや昨今の健康ブームも一因と考えられているが、大きな理由はその多様性にあるといわれる。特に日本料理(和食)の原点といわれている京料理は洗練された文化の積み上げといわれる。懐石料理、会席料理、割烹料理や仕出し料理等。寿司についても京寿司、関西寿司、江戸前寿司、その地域・地方の独特な寿司の代表である飾り巻寿司や熟れ寿司等。鍋料理に至っては、食材ごとに名前が付けられているといっても過言ではない。天婦羅、とんかつ、カレーライスやラーメンは、そのルーツは外国であるが今や完全に昇華され、和食の代表となり、逆輸出となっている。日本食の価値を我々が再発見・再認識し、日本食の精神を共有すれば日本文明復興となるし、外国から見ればまさにクールジャパンである。

